

マザアスニュース 第27号

ひだまり

2003年1月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

HP <http://www.moth.or.jp>

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/萱野 彰一郎



グループホームに学ぶ

施設長 高原 敏夫

「グループホームたきやま」が開設3年を、「グループホームひかわたい」は1年を経過しようとしています。

ホームを訪問すると、入居者から「いらっしゃいませ」との挨拶がある。先日お手製の味噌汁をいただく機会を得ました。久しぶりのおいしい味噌汁に有り付いた感じがしたものです。この味付けは職員も脱帽とか。生活の主人公は入居者であり、職員は生活を側面から支える存在、即ち「寄り添うケア」が実現しています。

特別養護老人ホームから、「職員交流プログラム」で隣のグループホームに行き、一日体験した職員のレポートに「カルチャーショック」を受けたことを報告しています。

「出来ないことを探している私とは違い、出来ることをどう引き出すかを日々考えている職員」「過剰な介護をせず、サポート役に徹することによる「自分がやったという達成感から、生き生きした顔つきになっている」こ

とが判りました、と書いてありました。

最近、「個別ケア」「グループケア」「ユニットケア」という言葉が目につくようになってきました。「個室」を中心とした「ユニットケア」は新しいハードの傾向ですが、既存の施設においても、取り組みが報告されるようになって来たのです。

老人福祉法第2条「健全で安らかな生活を保障されるものとする」とある「健全で安らかな生活」の中味が見直されてきているということでしょうか。

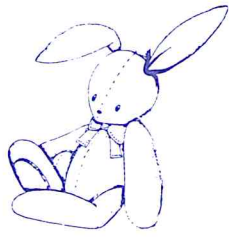
これまで施設が行ってきた「効率性が優先」された「集団的ケア」に対する反省から派生しているとは思いますが、ケアの中味が問われているようです。

幸い社会福祉法人マザアスは、二ヶ所でグループホームを運営しております。このグループホームを教材に、特別養護老人ホームのケアを再点検する年にしたいものです。

新年は「ルック グループホーム」で。



グループホーム ひかわだい



「ひかわだい」はこんな所

グループホームってどんな所？ 近くにあっても中は見えないもの。「百聞は一見に如かず」どうぞいつでも見学にいらして下さい。三世代同居の大家族とでも言いましょうか。9人のお年寄りを8人の職員が交代で支援しながら暮らしています。見事な包丁さばきで野菜を刻む方、「洗濯物の事は任せて！」とばかりにされる方、毎朝特製健康ジュースを作る方等、個性豊かなお年寄りが一緒に暮らしています。笑顔の絶えぬ家を目指しています。 石橋春美

ご家族から見て

家内はグループホーム入居の前は、歩行も忘れていました。でも今はお友達を誘って食堂に下りて行く程に回復しました。人格を尊重しつつ気長に指導される職員の皆様に敬服。 中喜多清之助

母がグループホームでの生活を始めたのは去年の3月からです。温かなスタッフの方々に守られ、母らしく生活しております。家族と母にとって一喜一憂の毎日ですが、母がグループホームで家族として迎えられ感謝してます。 坂井田廣子

ひかわだいのな・が・ま



生越さん

スポーツは色々やられただけあり、生越さんはホーム1の力持ち！お客さんが来られた時にはとても明るく接して下さる優しい心の持ち主でもあります。



中喜多さん

家族思いで動物好き、優しい笑顔の中喜多さん。食事作りにも積極的に参加して下さいます。包丁さばきはお手の物、割烹着姿がとてもお似合いです！

他人を思いやる気持ちを常に持ち続けている紀陸さん。いつも、他の入居者の方を心配して色々世話を焼いて下さいます。笑顔がとても素敵なお方です。



紀陸さん

朝、起きたら毎日一杯の水を飲むと風邪ひかないんだ。と威勢のいい西川さん。元気いっぱいな西川さんですが、すごく涙もろい一面を持っています。



西川さん



眞田さん

本当によく気がついて下さる方です。ゴミの分別、食器の片づけ…眞田さんに聞けば間違いなし！そんな眞田さんの願いは氷川きよしと会うこととか……!?



結城さん

私、毎日大変なんです。若い人にやる事が多くて…。煮物の味つけ、花だんの種まき、人生まで。そりゃもう大忙し。でもとても大事にされ、幸せです。

朝一番の田原さん特製ジュース。咳には、はちみつ湯どんな薬より効くそうです。寒いので服を7枚着ています。これからもっと寒くなるけれど大丈夫？



田原さん

ジェームス・ディーンが大好きな原田さん。映画談議に華が咲きます。私達は原田さんの笑顔が大好き！料理好きの松村さん。またお味噌汁作して下さい。



原田さん

職員から一言

- ◆ホームの皆さんとの生活は楽しくもあり、考えさせられます。日々是精進！ 横川
- ◆皆さんの笑顔に支えられる日々、幸せと言われるように、がんばりたいです。 大舘
- ◆毎日色々な事がありますが、できることを精一杯頑張りたいと思います。 後藤

- ◆日々の生活の中でホームの方達の笑顔や、温かい一言が私の元気の源なのです。 関
- ◆楽しく笑顔の絶えないホームでの皆さんとの生活、元気と勇気を頂いています。 田上
- ◆花も嵐も踏みこえてこられた人生の先輩方と、共に過ごせることに感謝です。 田平
- ◆毎日がワンダーランド。皆様から色々な事を教わり吸収させて頂いています。 松井



有意義な1日

生活介護課 梅谷 優子

「ショートステイを利用されている方々は、ご自宅でどのように過ごしておられるのだろうか。」この素朴な疑問が私の支援センター1日研修を選んだ動機でした。午前中に支援センターの担当役割の説明を受けている間にも相談の電話が入ってきました。配属されている職員が全員待機しているとは限らず、対応するのに苦労されているのがわかりました。以前、ショートを利用されたことのある方のケースもいろいろな事情をかかえてのご家族のご苦労が垣間見えました。

〇〇後はいよいよ地域訪問です。ご家族から普段の生活ぶりをご本人を混えて伺うことができました。自宅で過ごしている方がデイやショートなどのサービスを受けることの大きな意義は、お年寄を引き込ませないで、家族以外の方々と触れ合えることで、視野を広げてあげることでしょう。初めのうちは接触するのを拒んでも、サービスを提供する側の誠意が通じた時信頼が得られ、地域での施設の役割が大きく果たせるものです。私たち職員の所属がそれぞれに異なっている、連携していくことで確実にサービスを提供できるのだと実感しました。

援助サービスを受けずに、または受けられずにいらっしゃる方々の掘り起こし作業こそ福祉の現場そのものであると再認識できた一日でもありました。

研修に参加して

看護課 渡部 千賀子

資格をとって何十年も経つけれども、何もこれだけは自分で出来るという自信を失いかけています。老人の看護、介護はいままでにない新しい分野であること、やればやっただけ深いものがあり、高齢者ひとりひとり病気や障害も全員が少しずつ違っていて看護も介護も同じケースは二つとありません。それだけに毎日が新しい人との出会いであり、新しい分野なんだなと思います。

このたび社内研修という新しい取り組みに、デイサービスの看護の立場で、マザアス日野に1日研修させていただきました。ただ漠然と研修に参加するよりも、目的を持って行ったほうがよりよい研修になると思い、自分の知りたいこと、勉強したいことを文書で伝え、研修委員の方をお願いしました。日野の職員の方は、その資料を準備して下さり、見せていただき

現在、マザアス内で行われている、他部署や他施設で実習しその仕事を体験する「職員交流プログラム」に参加した皆さんの感想です。

「たきやま」へ行ってきました

生活介護課 井上 アヤ子

職員交流プログラムとして、私はグループホームたきやまへ行ってきました。前々から一度訪ねてみたいと思っていましたが、なかなか機会がなく、今回初めての訪問でした。

グループホームでは9名のお年寄りが共同生活をされています。それぞれが役割を持って、そして自分らしく生活されているように感じました。またそれは、職員の方が裏方に徹し、上手に立ち回っている成果でもあります。食事作り一つにしても、作れる方、そうでない方にも不公平さがでないように、出来ることを探し行っていたるように働きかけていました。見栄えが良いものを作るのではなく、作るという過程が大事であり、そして出来たことで自信が持て、生活の活力になるのだと職員の方がおっしゃっていました。普段、時間に追われる仕事をしている私としては、グループホームでのゆったりとした時間の流れがとても新鮮に感じました。時間にとらわれることなく、その日のお年寄りの体調などを考慮した上で日程が決められます。お年寄り中心の生活、職員が決めるのではなく、お年寄り自身が考え実行する、そのような援助がされていました。

このプログラムを終えて、改めて考えさせられたことが多くありました。生活の場である施設で、お年寄りが自分らしく生きてゆくためにはどのような援助をしていけば良いのだろうか…その答えはすぐには出せないとは思いますが、常にその言葉を胸に刻んで仕事に取り組んでいこうと思います。

ました。きちんと文書化されており、自分達が文書化していないものがあることに気づきました。

一日の仕事の流れは、だいたい同じようでした。同じデイサービスでも、管理者の考え方によって、仕事の分担やシステムが微妙に違ったり、利用者のその日の過ごし方でもリーダーの個性がでているなと思いました。ただ毎日仕事をこなすだけで終わっているのではなく、新しい知識、時代の流れに沿った専門的技術を視野に入れながら常に、意欲を持って仕事に取り組みたいと常々考え思っております。

しかし、年齢と共に少しずつその意欲も低下しているこの頃です。この時期に日野の研修に参加したことは、今までやってきた事を見直すよい機会となりました。このような機会を与えて下さった研修委員の方、そして心よく研修を引き受けて下さったマザアス日野の方に感謝致します。ありがとうございました。

❖ご協力ありがとうございました❖

14年度の「秋光祭」は10月26日～30日まで5日間の日程で行われました。このような長い期間の開催は初めての試みでしたがいかがでしたでしょうか。ご協力いただきましたボランティアさん、家族会、賛助会、そして地域の皆様に心よりお礼申し上げます。

〈ご寄付いただきました〉

- フリーマーケット出店の方より(15件)
売上の一割を場所代として 20,485円
- 家族会より
バザーの売上 43,070円



第5回 施設内研究発表会

下記の日程で研究発表会を開催します。
興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

- 日 時 2月18日(火) 18時30分
- 場 所 マザアス3階 地域交流ロビー
- 発表者
 - ◆生活介護課・相談課
 - ◆グループホームたきやま
 - ◆デイサービスセンター(湧泉)
 - ◆栄養課
 - ◆外部より1件

表紙の写真

デイサービスセンター職員水戸黄門御一行
前列左から 斉藤良子、小美野由紀
後列左から 二宮茂樹、副島明子、古川由美子

Hello Buddies

久しぶりのご挨拶です。初めてお店をオープンしてからまもなく4年が過ぎようとしています。この間当店をご利用頂きありがとうございます。スタッフのほとんどが、ドシロウトで始めたにも関わらず年数を積んで行くごとに、それなりにお店らしく出来るようになったのではないかと考えております。店名のパディーズが意味する「お食事やお酒などを楽しみながら気軽に出来る仲間達」そんな雰囲気作りを目指し、またあちらこちらから「今度のパディーズはいつ?」といった声がたくさん聞かれるようになる事を目指して、スタッフ一同これからも頑張っていきたいと思っております。どうぞ気軽に立ち寄ってみてください。これからはピアノの演奏などもありますよ。



編集後記

小雪がちらつく寒い新年を迎えました。
元旦早々、今年の干支「羊」さんのお世話になりました。頭の上から足先までウールマークがついていました。

さて、本年は“美と和”を追求した編集に取り組んでいきたいと考えています。

～羊に関する漢字～ 美という字は「羊」と「大」から来ています。肥えて大きいほどよい、うつくしいという意を表わしているそうです。
山崎 宣子

特別養護老人ホーム マザアス東久留米	デイサービスセンター マザアス氷川台	ヘルパーステーション マザアス氷川台	居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
Tel 77-7261	Tel 77-7263	Tel 77-7260	Tel/Fax
Fax 77-7500	Fax 77-7500	Fax 77-7500	70-1740
老人デイサービスセンター マザアス大門	東久留米市東部 在宅介護支援センター	グループホーム たきやま	グループホーム ひかわだい
Tel 70-0065	Tel/Fax	Tel/Fax	Tel/Fax
Fax 70-8024	73-9996	77-1525	77-2150